病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する計画　〔西脇市立西脇病院〕

2026.4

業務内容	状況及び計画	実施時期
1．医師･看護師等の医療関係職と事務職員等との役割分担		
診断書、診療録、処方せん、主治医意見書等の作成	医師事務作業補助者を配置し、診断書等、診療録、処方せんの作成を行っている。診察した医師が最終的に確認することを条件に、医師事務作業補助者が医師の補助者として記載を代行している。今後、医師事務作業補助者を増員することで、さらなる医師の負担軽減を図る。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
診療予約入力	紹介患者に係る予約入力については患者総合支援センターの職員が行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
ベッドメイキング	ベッドメイキングは、業務委託している業者が行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
物品の搬送･補充	院内の物品の在庫管理・搬送管理・消費管理については、業者による一元管理となっている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
外来診療の補助	各種検査の予約や説明等に係る事務、書類、伝票類の整理、医療上の判断が必要でない電話対応などを外来クラークが行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
患者の検査室等への移送	患者の状態等､特に問題がない場合においては､原則として外来クラークが行うこととしている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
診療報酬請求書の作成	請求事務については、委託の医療事務者が行っている。医師によるレセプト点検業務については､点検システムを導入するなど負担軽減を図っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
書類や伝票の整理	病棟における医師の事務的業務について､事務的看護補助者を増員し対応することにより医師が本来業務に専念できる環境を整えていく。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
2. 医師と助産師との役割分担		
助産師の積極的な活用	助産師を積極的に活用し、母乳外来、妊婦教室、出産前後の親への指導等を行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
3. 医師と看護師等の医療関係職との役割分担		
看護師による薬剤投与量の調節	オーダリングによる医師の指示（対症指示）に沿って看護師が判断し､施行している。 判断が困難な場合は、医師へ達絡し再度指示を仰いでいる。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
看護師による静脈注射及び留置針によるルート確保	静脈注射については、看護師が実施している。 がん化学療法室における抗がん剤の注ぎかえをがん化学療法専任看護師が実施している。 抗生物質接続を看護師が行うようにしている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
看護師による診療の優先順位の決定（救急等）	救急外来について､各勤務帯における看護師のリーダーがトリアージの役割を担っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
看護師・社会福祉士による退院調整業務の充実	患者総合支援センターの看護師、社会福祉士が入院早期から介入を行うことで退院に向けた問題を早期に把握し、各関係機関と調整を行うことでスムーズな転院先の選定や在宅療養へ向けての各種サービス利用につなげている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
予定入院患者に対する入院時支援	入院予定の患者に対し入院中に行われる治療の説明､入院生活に関するオリエンテーション､服薬中の薬の確認等を入院前に実施することで安心して入院医療を受けられるよう入院時支援を実施する。	実施中 （Ｒ８年度も継続）

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する計画　〔西脇市立西脇病院〕

2026.4

業務内容		状況及び計画	実施時期
	臨床検査技師による採血、検査説明	採血業務の一部を、看護師に代わって臨床検査技師が行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	薬剤師による入院患者の服薬指導	服薬指導により、かかりつけ医からの持参薬の確認を行い服薬指導レポートを作成し、持参薬の情報を医師に提供している。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	薬剤師による病棟等の薬剤の在庫管理	全て薬剤師が行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	病棟薬剤師の配置	病棟に薬剤師を配置し、薬剤の一元管理を行うと共に、入院患者の持ち込み薬剤の整理、管理を病棟薬剤師が行い、医師及び看護師の負担を軽減する。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	薬剤師によるミキシング	現在、抗がん剤など一部は薬剤師が行っている。今後は、薬剤師によるミキシングの範囲を拡大する予定である。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	薬剤師による与薬等の準備	薬剤師を積極的に活用し、与薬等の準備を薬剤師が行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	臨床工学技士による医療機器の管理	医療機器の管理は、医師の指示の下で臨床工学技士が行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	臨床工学技士による入院棟ラウンドの実施	臨床工学士が、入院で使用中の医療機器のラウンド点検を行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
4. 医師事務作業補助者の配置			
	診断書、診療録、処方せん、主治医意見書等の作成	診断書等、診療録、処方せんの作成を行っている。診察した医師が最終的に確認することを条件に、医師事務作業補助者が医師の補助者として記載を代行している。今後、医師事務作業補助者を増員することで、更なる医師の負担軽減を図る。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	オーダー補助	・診察や検査の予約。医師の正確な判断・指示にもとづいているものであれば、医師との協力・連携の下、医師事務作業補助者が医師の補助者としてオーダリングシステムの入力を代行することを可能とした。今後、医師事務作業補助者を増員することで、更なる医師の負担軽減を図る。 ・外来診療サポート（各種検査伝票記入）。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	診療データ等の入力、管理	入院医療統計などの入力補助。・電子カルテからのコスト入力、処置行為、入退院処理。診断書・紹介状・検査結果など各種関係書類をスキャナにより電子画像として取り込み、電子　カルテに保存。今後、医師事務作業補助者を増員することで、更なる医師の負担軽減を図る。血液内科学会登録、治験に必要なデータ入力を実施した。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	行政上の業務への対応	行政上の業務への対応を医師の指示の下に行う。救急医療情報システムへの入力。感染症のサーペイランス事業など。院内がん登録等の統計、調査。今後、医師事務作業補助者を増員することで、更なる医師の負担軽減を図る。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	学会・カンファレンス準備等	医師研修の資料づくり、カンファレンスの資料づくり、症例検討会や臨床研修医勉強会のためのデータ準備などを行う。今後、医師事務作業補助者を増員することで、更なる医師の負担軽減を図る。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
5. 短時間正規雇用医師等の活用			
	短時間正規雇用医師･非常勤医師の外来診療、当直等への活用	休日の当直、当直業務対応のため非常勤医師を採用し常勤医師の負担軽減を図っている。また、育児を優先させたい医師などに対して、フルタイムより短い就業時間での雇用を行うなど多様なニーズに対応する。	実施中 （Ｒ８年度も継続）

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する計画　〔西脇市立西脇病院〕

2026.4

業務内容		状況及び計画	実施時期
6. 医師の勤務体制			
	連続当直を行わない勤務体制の実施	勤務計画上、連続当直を行わない体制をとる。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	勤務間インターバルの確保	当直翌日については、業務を職免対応することで一定の休息時間を確保している。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	翌日が予定手術の場合は、診療科内で必要に応じ前日の当直を入れない等の配慮を行う。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	当直翌日の業務内容に対する配慮	当直翌日の業務を職免対応することで常勤医師の負担軽減を図る。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	主治医制の見直しの実施	一部の診療科では、指導医、研修医での複数主治医制、休日における当直医制を取り入れることで常勤医師の負担軽減を図っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
7. 産休・育休制度の活用			
	正規雇用医師の産休・育休制度の活用	正規雇用女性医師に対する産休・育休制度を整備している。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
8. 院内保育所の設置			
	院内保育所の設置	育児支援の充実を図るため、院内保育所を開設し、医師及び看護師の子どもを対象に受け入れを行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
9. 地域の他の医療保健機関との連携体制			
	医師会急患センターの併設	西脇多可休日急患センターが西脇病院内へ移設され、毎週日曜日（午前９時から午後５時まで）に西脇市多可郡医師会所属の開業医師（内科・外科）が交代制で１次救急を対応してくれており、当院医師の負担軽減が図られている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	休日小児一次救急対応	地域内の輪番制により実施している休日の小児一次救急を小児科開業医の対応で行うことで、当院勤務医の負担を軽減する。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	夜間休日の当直応援	外科、小児科、脳神経外科について、神戸大学医学部付属病院からの応援医師による夜間休日の当直を実施し、当院勤務医の負担を軽減する。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	地域連携クリティカルパスおよび地域連携計画の推進	脳卒中、大腿骨頸部骨折パスの積極的な利用をより促進する。また、がん治療連携計画に伴う連携先医療機関をさらに拡大させていき、連携をより密接なものとさせていく。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
10. 外来縮小の取り組み			
	逆紹介の推進	逆紹介を積極的に進めているほか、医師会と協働でかかりつけ医を持つことの重要性を住民に啓発している。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	初診時選定療養費の算定	病診連携を推進し、外来診療に医師の負担を軽減するため、初診時選定療養費を医科7，000円（税込）、歯科5，000円（税込）徴収している。	実施中 （Ｒ８年度も継続）

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する計画　〔西脇市立西脇病院〕　2026.4

業務内容	状況及び計画	実施時期
11. その他		
院内警備体制の強化	警察官OBを相談員として医事課に配置することで警備体制を強化し、医師が診療に専念できるような体制を整える。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
総合医療情報システムの全面更新	電子カルテシステムを中心とした医療情報システムを更新することでより安全で効率的な診療を行える体制を整える。	実施済 Ｒ６年２月～
勤怠管理システムの導入	勤怠管理システムを導入することで、勤務時間管理や各種申請手続きに係る医師の負担軽減を図る。	実施済 Ｒ６年２月～
院内グループウェアの更新	院内グループウェアを更新することで、さらなる業務の効率化や職員間の連携強化を図る。	実施済 Ｒ７年３月～
医療関係者間コミュニケーションアプリの導入	医療関係者間コミュケーションアプリを導入し、院外にいる医師と画像データを共有することで救急診療などにおける医師の負担軽減や勤務時間の短縮に繋げる。	Ｒ７年３月導入済 現在調整中